

2008年G8サミットNGOフォーラム 第2期(2007年9月18日~2008年9月)

参加団体

記入日: 2007年9月11日

\*団体名:(日本語) **STOP!劣化ウラン弾キャンペーン実行委員会**

(英語) **STOP! DU CAMPEIGN (JAPAN)**

\*住所: 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-22-10 榎本ビル401号 スペースエコ三鷹内

\*Tel: 0422-44-4935

Fax: 0422-44-4935

\*連絡用E-mail: info@stop-du.jp

\*ウェブサイト: http://stop-du.jp/

参加ユニット:

貧困・開発ユニット	
環境ユニット	
人権・平和ユニット	

参加の形態:

運営NGO	
サポートNGO	

<b>団体の設立年月日</b>
2003年1月
<b>団体設立の経緯と目的</b>
湾岸戦争や、旧ユーゴ紛争での劣化ウラン弾被害が明らかになりつつある中で、03年イラク戦争開戦直前に設立。劣化ウラン弾の危険性を訴えその廃絶を目指すとともに、イラク復興支援活動もサポート。
<b>代表者名</b>
小田切 隆一
<b>団体の主な活動内容</b>
被曝国日本の立場から劣化ウラン弾の使用禁止・廃絶に取り組むよう、外務省・防衛庁に対して申し入れ交渉を継続。また、被害実態をあきらかにするため、旧ユーゴスラビア(セルビア、コソボ自治州)にて現地調査(05年)。報告集「ユーゴ空爆で使われた劣化ウラン弾が人々を苦しめている」(実践社刊、06年)を編集発行。
<b>NGOフォーラムで団体を実現したい活動</b>
最新の放射線医学・物理学の研究では、低線量被曝問題の評価は変わりつつもある。国際政治においても、ベルギー国会で劣化ウラン弾禁止法が可決されるなど感心が高まる中で、日・米政府などが「劣化ウラン弾は安全」と主張し続けている現状を変えるきっかけをつくりたい。そのためにも、他の様々な国際的問題に取り組むNGOや人士との交流も深めていきたい